

参議院代表団マレーシア・日本国際国際工科院（MJIT）視察

参議院代表団が9月7日、MJIT を視察された。目的は東方政策の集大成としての MJIT の活動状況調査のため。出席者は、参議院議員太田房江先生、森本真治先生、新妻ひでき先生、参議院国際部国際会議課長倉田保雄氏、大使館員の方々、MJIT 側：ルビヤユソフ院長、小林史典副院長、杉浦則夫教授、福田応夫教授、そのほか JICA の方々。主に労働者倫理、日本式工学の導入状況などの議論を行った。そのほか共同指導ではとくに筑波大学が活発に受け入れを行っていることが話題に出た。

日本の労働者倫理では、中小企業を例にあげ、技術の豊かなものづくり経験と継承の付与の仕方、日本式工学では知識、経験の基礎からの連続的な弁証法的積み上げの必要性を紹介した。労働者倫理についてはカリキュラムのなかに人間力を科目に設定し、その内容の一部を紹介した。その後、環境工学講座、トライボロジー・精密加工講座、産業博物館を視察された。写真は航空関係経験者同士のスナップ写真。



右：参議院議員新妻秀規先生（元航空工学出身・経験者）、杉浦筑波大学/MJIT 教授（元防衛省航空機操縦課程経験者）